

令和7年度着手

県 営 ひら いわ いけ 平岩池地区 緊急防災等工事計画書

(防 災 ダ ム 事 業)

愛 知 県

目 次 (1/2)

	頁		頁
第 1 章 目 的	1	1. 要 旨	11
第 2 章 地 域 及 び 地 積	1	2. 事業別面積	11
第 1 節 地 域	1	第 2 節 営農計画及び土地利用計画	11
第 2 節 地 積	1	第 3 節 用水計画	12
第 3 章 現 況	2	第 4 節 排水計画	12
第 1 節 気 象	2	第 5 節 道路計画	12
1. 一般気象	2	第 6 節 農用地造成計画	12
2. 特殊気象	2	第 7 節 洪水調整計画	12
第 2 節 土 地 状 況	3	第 8 節 干拓計画	12
1. 地形、土壤及び浸食の程度	3	第 9 節 農用地整備計画	12
2. 土 地 分 類	3	第 10 節 老朽ため池改修計画	12
3. 土地利用の状況	3	1. 堤体改修計画	12
4. 土地所有の状況	4	2. 洪水吐改修計画	12
第 3 節 水利状況	4	3. 取水施設改修計画	12
1. 用水状況	4	4. 付帯計画	12
2. 排水状況	6	第 5 章 主要工事計画	13
3. 河川状況	6	第 1 節 用水施設	13
第 4 節 道路概況	6	第 2 節 排水施設	13
第 5 節 地域農業の概況	7	第 3 節 道路及び索道	13
1. 産業別就業人口	7	第 4 節 農用地造成	13
2. 経営耕地広狭別農業経営体数	7	第 5 節 洪水調整施設	13
3. 主要家畜頭数	7	第 6 節 干拓施設	13
4. 主要作物作付状況	8	第 7 節 農用地整備施設	13
5. 農業の動向	9	第 8 節 老朽ため池改修施設	14
第 6 節 地域環境の概況	10	1. 貯水池	14
1. 特に配慮すべき生物環境	10	2. 堤体補強施設	14
2. 景観の優れた地域の概要	10	第 6 章 附 帯 工 事 計 画	14
第 4 章 一般計画	11	第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期	15
第 1 節 事業計画の要旨	11	第 8 章 環境との調和への配慮	15

目 次 (2/2)

	頁
第 9 章 換地計画の概要	15
第 10 章 事業費の総額及び内訳	16
第 11 章 効 用	16
第 12 章 関連する事業	17
第 13 章 現況・計画平図面	17
1 位置図	18
2 計画一般図	19

第1章 目 的

平岩池は、愛知県額田郡幸田町の東部に位置する受益面積14.0haの農業用ため池である。町内を流れる広田川の支流である相見川の上流に位置しており、流域から貯水された用水はパイプラインにより各水田へ供給され、地域の用水を賄っている。

平岩池は平成3年から平成5年度にかけて、緊急農地等防災事業（老朽ため池等整備）により、堤体・取水施設及び洪水吐が改修されたが、平成24年度に堤体、洪水吐及び底樋の安定性の確認を行ったところ、堤体及び底樋の耐震性不足が確認された。また、洪水吐においては、排水能力が不足していた。

よって、本事業において地震対策及び豪雨対策を行い、ため池決壊による洪水被害を未然に防止し、農業経営の安定を図ると共に国土の保全に資することを目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地域 (第1表)

事業名	地域
防災ダム事業	額田郡幸田町

第2節 地積 令和 6 年 10 月現在 (第2表)

市町村名 \ 現況地目	田 ha	畑 ha	原野 ha	山林 ha	その他 ha	計 ha	備 考
額田郡幸田町	14.0	-	-	-	-	14.0	幸田町受益図
合計	14.0	-	-	-	-	14.0	

第3章 現 況

第1節 気象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	岡 崎	か ん が い 期	非 か ん が い 期	計 又 は 平 均	備 考
観測期間	H3 ～ R2	4 月～ 9 月	10 月～ 3 月		
平 均 気 温		22.0 ℃	9.0 ℃	15.5 ℃	
降 水 量	平 均	963 mm	545 mm	1,508 mm	
	基 準 年	—	—	—	
降 水 日 数	平 均	60 日	44 日	104 日	
	基 準 年	—	—	—	
根 雪 期 間		— 月 — 日～ — 月 — 日 (— 日間)			
無 霜 期 間		— 月 — 日～ — 月 — 日 (— 日間)			
最 多 風 向		NW	最大風速 (風向)	18.0 m/s (NW)	最多風向発生時期 12月～4月 最大風速発生年月日 H3. 2. 25

出典:愛知・豊川用水振興協会HPより

2. 特殊気象

(第3表-2)

観 測 所 名		第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
岡 崎 観 測 所																	
観 測 期 間		数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
S51.1.1 ～ R5.12.31																	
最大日雨量	(mm)	268.0	R5.6.2	1/1000以下	263.5	H20.8.29	1/1000以下	179.0	H12.9.12	1/14	159.0	S57.8.3	1/7	155.5	R4.9.23	1/6	
最大時間雨量	(mm)	146.5	H20.8.29	1/1000以下	78.0	H23.9.20	1/43	67.5	R4.7.26	1/20	55.5	R2.7.25	1/8	55.0	H12.9.12	1/8	
最大4時間雨量	(mm)	252.5	H20.8.29 0:00～4:00	1/1000以下	141.0	H12.9.11～12 22:00～2:00	1/33	112.0	R5.6.2 10:00～14:00	1/10	108.0	H23.9.20 2:00～6:00	1/9	106.0	H6.9.17 19:00～23:00	1/8	
最大連続雨量	(mm)	447.5	H20.8.28 ～8.30	1/393	302.5	R5.5.29 ～6.3	1/14	295.0	H5.6.29 ～7.15	1/12	295.0	H12.9.11 ～9.12	1/12	286.0	H2.9.13 ～9.20	1/10	
最大連続干天日数	(日)	40	S61.1.5 ～2.13	1/76	36	H9.10.8 ～11.12	1/37	32	H11.12.6 ～H12.1.6	1/18	31	H7.11.28 ～12.28	1/15	31	H10.12.9 ～H11.1.8	1/15	第5位 同数 H21.8.12～9.11

出典:愛知・豊川用水振興協会HPより

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

令和 6 年 10 月現在 (第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考
	傾 斜 区 分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
防災ダム事業	面積 (ha)	-	14.0	-	-	-	14.0	-	-	-	-	-	-	28.2	17.6	
	比率 (%)	-	100%	-	-	-	100%	-	-	-	-	-	-			

出典：都市計画図 (S=1:2,500) 図測による

2. 土地分類

令和 6 年 10 月現在 (第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)			備考	
	土 壤 断 面							堆積様式	母材	事 業 名				
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性					泥炭層黒 泥層及び グライ層	防災ダム 事業	—		—
					表 土 一 層	下 層 土 二 層	三 層							
柏原1統	黄褐	—	—	—	壤～粘質	壤～強粘質	—	—	残積	非固結 水成岩	14.0	—	—	
計											14.0	—	—	

出典：国土政策局国土情報課 土地分類基本調査より

3. 土地利用の状況

該当なし

令和 6 年 10 月現在 (第4表-3)

事業名	土地 利用別 市町村別	耕 地						原野	山林	採草 放牧地	その他	計	備考
		水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 樹 園 地 (ha)						
防災ダム事業	幸田町	14.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.0	

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有地等	国有地	県有地	市有地	計	備考
防災ダム事業	面積 (ha)	14.0	-	-	-	14.0	
	受益者数 (人)	-	-	-	-	-	
	筆数 (筆)	-	-	-	-	-	
	権利関係	-	-	-	-	-	
	備考 (関係戸数)	-	-	-	-	-	

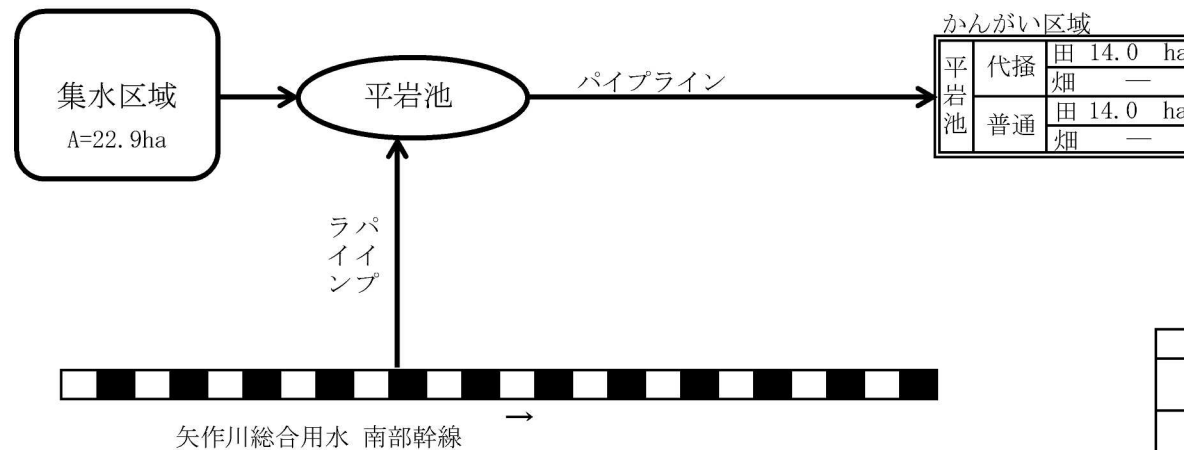
第3節 水利状況

1. 用水状況

平岩池の貯水は、流域（集水区域）からの流入と、矢作川総合用水 南部幹線により安定した用水供給がなされている。
受益地には、パイプラインにより、用水供給されている。

(1) 用水系統

現況用水系統図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

(第9表) 1)																
事業名	項 目 施設名	か ん が い 面 積						計		許 可 水 利 権		慣 行 水 利 権		延べ取水量		備 考
		500ha以上		500ha～100ha		100ha未満										
		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(m3/s)	(箇所)	(m3/s)	(箇所)	(m3/s)	
防災ダム事業	貯 水 池	-	-	-	-	1	14.0	1	14.0	-	-	-	-	1	-	
	井 堰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自 然 取 入 口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	揚 水 機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計		-	-	-	-	1	14.0	1	14.0	-	-	-	-	1	-	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項 目 施設名	施 設 名 又 箇 所 数 (箇所)	受 益 面 積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又 更 新 年	改修を必要とする理由	備 考
防災ダム事業	貯水池	平岩池 1	14.0	堤 体	堤高H=10.7m、堤長L=80.5m 傾斜遮水型	平成4～5年度	上流法面が耐震性不足のため 押さえ盛土により改修する。	堤体
				緊急放流施設【新設】	未整備	-	既設取水孔では緊急放流が不 可能であるため新設する。	緊急放流施設
				斜樋・底樋	取水孔φ150×5 斜樋φ300、底樋φ600	平成4年度	底樋の耐震性不足により 耐震補強を行う。	底樋
				側水路越流型洪水吐	堰長7.74m	平成4年度	豪雨時における放流能力不足 により改修を行う。	洪水吐 (緊急放流施設兼用)
	井 堰	-	-	-	-	-	-	
	自 然 取 入 口	-	-	-	-	-	-	
	揚 水 機	-	-	-	-	-	-	
	用 水 路	-	-	-	-	-	-	
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	
合 計		1	14.0	-	-	-	-	

- (3) 用水に関する被害状況
該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
防災ダム事業	23.7	0.3	6.1	30.1	25,946	91,668	282,629	1,214,699	1,336,966	2,951,908	
合計	23.7	0.3	6.1	30.1	25,946	91,668	282,629	1,214,699	1,336,966	2,951,908	

2. 排水状況
該当なし

3. 河川状況
該当なし

第4節 道路概況

西側に位置する国道248号を中心に、県道、町道及び農道が整備されており、農作物の輸送道路及び日常の生活道路として兼用されている。

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項 目	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運 輸 通信業	卸 売 小 売 飲 食 店	金 融 保 険 業	不動産業	サービス 業	公 務	そ の 他	備 考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
幸田町	21,718	689	3	3	5	1,227	8,630	97	754	2,550	318	216	1,137	535	5,554	
比率 (%)	100.0	3.2	0.0	0.0	0.0	5.6	39.7	0.4	3.5	11.7	1.5	1.0	5.2	2.5	25.7	

出典: 令和2年国勢調査

2. 経営耕地広狭別農業経営体数

(第7表-2)

区分 市町村名	農 業 経 営 体 数 (経営体)	経営耕地広狭別農業経営体数 (経営体)										1経営体当り 平均農用地面積 (ha)				備 考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5 ha	0.5 ～ 1.0 ha	1.0 ～ 1.5 ha	1.5 ～ 2.0 ha	2.0 ～ 3.0 ha	3.0 ～ 5.0 ha	5.0 ～ 10.0 ha	10.0 ～ 20.0 ha	20.0 以上	田	畑	樹 園 地	草 地	
幸田町	342	32	84	126	50	16	9	7	5	4	9	2.94	0.38	0.67	0.50	
比率 (%)	100.0	9.4	24.6	36.8	14.6	4.7	2.6	2.0	1.5	1.2	2.6	65.4	8.5	14.9	11.2	

出典: 2020年世界農林業センサス

3. 主要家畜頭数

(第7表-3)

項 目 市町村名	主 要 家 畜								備 考
	乳用牛		肉用牛		豚		家きん		
	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	
幸田町	-	-	x	4	x	1			「-」は事実の無いもの、「X」は 秘密保持上統計数 値を公表しないもの
100経営体当り数量 (頭, 100羽)	-		-		-		-		
飼養経営体数 割合(%)	-		1.2		0.3		-		

出典: 2020年世界農林業センサス

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名	幸田町	—	—	—	—	—	—	計	作付割合	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)	973	—	—	—	—	—	—	973		
区 分 作 物 名	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	(%)	
水 稻	523	—	—	—	—	—	—	523	63.9	2020年農林業 センサス 「-」は事実の 無いもの、 「X」は秘密保 持上統計数値 を公表しない もの
麦 類	167	—	—	—	—	—	—	167	20.4	
雑 穀	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
い も 類	X	—	—	—	—	—	—	X	—	
豆 類	X	—	—	—	—	—	—	X	—	
工 芸 作 物	X	—	—	—	—	—	—	X	—	
野 菜 類	46	—	—	—	—	—	—	46	5.6	
果 樹 類	68	—	—	—	—	—	—	68	8.3	
花き類・花木	X	—	—	—	—	—	—	X	—	
そ の 他 作 物	15	—	—	—	—	—	—	15	1.8	
計	819	—	—	—	—	—	—	819	100.0	

出典：2020年農林業センサス

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 業			土 地			主要作物			主要家畜			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	農業経営体数	77	62	耕地	112	108	水稻	117	136	乳用牛	X	-	農業振興地域指定 昭和45年指定 昭和49年認可 野菜指定産地 平成11年指定 冬春なす 平成14年指定 夏秋なす 果樹濃密団地 平成18年指定 温州みかん なし かき いちじく 酪肉近代化 平成18年指定	A：令和2年 (2020年) B：平成27年 (2015年) C：平成22年 (2010年)
	個人経営体数	80	63	田	115	119	麦(小麦)	142	105	肉用牛	X	X		
	団体経営体(法人)数	100	100	普通畑	118	108	野菜類	X	135	豚	X	X		
	団体経営体(非法人)数	0	13	樹園地	91	65	果樹類	X	65	家さん	-	-		
変化の理由	他産業への転職、高齢化等に伴い、農業経営体、個人経営体数は減少傾向にある。農地の集積が進み、団体経営体の数が増加した。			住宅等への転用により、畑、樹園地は減少しているが、耕作放棄地の再生等により田は僅かに増加傾向にある。			大区画化や経営の団体化などの効率化が進み、水稻、野菜類が増加傾向であるが、生産調整や農地の減少により小麦と果樹類は減少傾向にある。			秘密保護のため公表されておらず、変化の把握ができない。				

出典：2010年世界農林業センサス、2015年農林業センサス、2020年農林業センサス
備考：「X」は、秘密を保持するため、統計数値を公表しないもの

第6節 地域環境の概況

幸田町は、海拔5m～440m間にあり、平地から山村にかけて多くの地形がみられる。山地は本町の東、南、西部の三方を囲むように形成され、東部の山地は岡崎市、蒲郡市と境をなし、本町の最高峰である遠望峰山がそびえている。また南、西部は三河山地の最南端にあたり、三河湾国定公園の一部をなす三ヶ根山を中心とする幡豆山地の北部を占めている。

このように、本町は両側にびょうぶを立てた形で山地が連なっているため、森林をはじめとする緑・自然景観などに非常に恵まれている。

1. 特に配慮すべき生物環境

(1) 植物

市街地の周辺は水田が取り巻き、その外周は樹林地や畑地となっている。樹林地は市街地東部及び南西部に広く分布し、クロマツの植林にまじりアラカシ群落、モチツツジ・アカマツ群落、コナラ・クリ群落などがみられ、特に南部ではクロマツ群落が広がっている。果樹園は本町南西部及び北東部に多くみられる。

近年では、クロマツ群落が減少し竹林が広がるなど、植生の変化がみられる。

(2) 動物

動物は、サル・コウモリ・ノウサギ・ネズミ・タヌキ・イタチ・テン・イノシシが生息していたが開発が進み現在みられないものもある。

鳥類では、自然環境で、メジロ・ヒヨドリ・ゴジュウカラ・ジュウイチ・ホオジロ・ヨタカ・ヒバリなどをみることができる。

昆虫に関しては、山間部から田園地帯にわたりゲンジボタル、水たまりや水田では、ゲンゴロウ・タガメなどがみられる。

魚類に関しては、山間地の川にギギが見られる。水田地帯では、ドジョウ・ウナギ・フナ・コイなどが多く生息する。

貝類では、水田地帯でカラスガイが多く生息する。

2. 景観の優れた地域の概要（特に配慮すべき生物以外のもの）

東部及び南部の遠望峰山・三ヶ根山を中心とする三河湾国定公園などの山並みに囲まれ、里山の緑や河川、本町中央部の市街地周辺を取りまく農地やため池などにより、自然豊かな景観が広がっている地域である。

第4章 一 般 計 画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本地区の事業計画は、地震対策及び豪雨対策を行い、ため池決壊による洪水被害を未然に防止し、農業経営の安定を図ると共に国土の保全に資することを目的とする。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用 区 分 事業 目 的	防災ダム事業					-					合計
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	小計	水田	普通畑	牧草地	果樹園	小計	
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農 地 防 災	14.0	-	-	-	14.0	-	-	-	-	-	14.0
計	14.0	-	-	-	14.0	-	-	-	-	-	14.0

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

地震及び豪雨時のため池決壊による洪水被害を未然に防止することで、農業経営の安定を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
防災ダム	現況	14.0	-	-	-	-	-	14.0	-	-	-	14.0	
	計画	14.0	-	-	-	-	-	14.0	-	-	-	14.0	

3. 作付方式 該当なし

4. 生産計画 該当なし

5. 労働改善計画 該当なし

6. 級地別土地利用区分 該当なし

7. 土地配分計画 該当なし

第3節	用水計画 該当なし	
第4節	排水計画 該当なし	
第5節	道路計画 該当なし	
第6節	農用地造成計画 該当なし	
第7節	洪水調整計画 該当なし	
第8節	干拓計画 該当なし	
第9節	農用地整備計画 該当なし	
第10節	老朽ため池改修計画	
1.	堤体改修計画	既設堤体の上流法面が耐震性不足であるため、押さえ盛土により現行の基準を満たす堤体構造に改修する。
2.	洪水吐改修計画	既設洪水吐では設計洪水量を流すことができない。よって、既設洪水吐を取壊し現行の基準を満たす構造に改修する。 (1) 計画基準雨量 146.50 mm/h r (2) 計画洪水量 12.64 m ³ /s
3.	取水施設改修計画	既設底樋管の耐震性が不足しているため、現行の基準を満たす構造に改修する。
4.	附帯計画(緊急放流工)	地震発生時直後等の堤体保全を目的として、ため池水位を24時間以内に所定の水位まで降下させる放流能力を有する施設を設ける。

第5章 主要工事計画

- 第1節 用水施設
該当なし
- 第2節 排水施設
該当なし
- 第3節 道路及び索道
該当なし
- 第4節 農用地造成
該当なし
- 第5節 洪水調整施設
該当なし
- 第6節 干拓施設
該当なし
- 第7節 農用地整備施設
該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 (第24表)

名 称	平岩池			位 置	額田郡幸田町大字久保田地内				
堤 体	型 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m ³)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m ³)	備 考	
	前刃金型	0.229	10.7	80.5	24,000	4.2	80.0	堤体改修 (上流法面・押さえ盛土工法)	
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式		取 水 量 (m ³ /s)	備 考
	側水路越流型	12.64	12.6	洪水吐改修 (緊急放流施設兼用)		取水孔 斜樋管 底 樋	φ150×5孔 φ300 φ600	0.08	底樋改修 (管更生工法)
緊急放流施設	型 式		放流量 (m ³ /s)	備 考					
	緊急放流ゲート □600×600		1.288 (最大)	緊急放流施設新設 (洪水吐兼用)					

2. 堤体補強施設

(1) 堤体耐震補強施設

堤体上流法面の押さえ盛土により耐震性を確保する。

(2) 法面保護施設

該当なし

(3) 漏水防止工

該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期

着工 令和 7 年度 完了 令和 10 年度（予定）

2. 工事の年度割予定

年 度 工 種	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
測量・調査・設計等				
堤体工				
洪水吐工				
底樋工				
緊急放流工				
仮設工				

第8章 環境との調和への配慮

(1) 配慮の対象

本地区は、幸田町田園環境整備マスタープランにおいて、環境創造区域となっている。

当該ため池は、森林に囲まれ、良好な水辺環境を有しており、魚類ではタモロコやドジョウなどの在来種が確認された。今後もこれらの生物が生息できるような環境の保全に配慮する。

なお、生物調査では、重要種としてドジョウ（魚類）、トノサマガエル（両生類）及び、ハイタカ（鳥類）が確認されている。

(2) 配慮の方法

魚類・昆虫・鳥など、水辺を生息域とする水生生物を中心とした水辺環境の保全のため、地区周辺の生物の生息環境の障害にならないように、施工方法を工夫し、生物の生育・育成に必要な一定の水が溜まる部分を残すとともに、低騒音・低振動・排出ガス対策型の建設機械を使用する。

魚類は外来種を除き、近隣の池に一時的に移動するなどして影響を軽減する。

工事中に発生する濁水は、ろ過施設を設けることで濁水対策を講じる。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分 \ 事業名		防災ダム事業 (千円)	備 考
事業費	※1	160,000	
事務的経費	※2	9,800	
計		169,800	
関連 事業 (参考)	-	-	
	-	-	

令和6年度単価。消費税は10%にて算定。(ただし、物価変動により将来変動することがある。)

※1 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第11章 効用

(第27表)

区分 \ 項目	防災ダム事業		備 考
	年総効果(便益)額 (千円)	年総増加農業所得額 (千円)	
災害防止効果(農業関係資産)	17,411	-	
災害防止効果(一般資産)	58,158	-	
災害防止効果(公共資産)	52,839	-	
維持管理費節減効果	△ 20	-	
計	128,388	-	総便益額 2,172,117 千円

<参考>

令和6年度単価

① 当該事業費	:	138,646 千円
② その他費用	:	75,545 千円
③ 総費用	:	214,191 千円
④ 年償還額	:	- 千円
④' うち機能向上分	:	- 千円
⑤ 年総効果(便益)額	:	128,388 千円
⑥ 現況年総農業所得額	:	3,980 千円
⑦ 年総増加農業所得額	:	- 千円
評価期間: 44年		
割引率: 0.04		
⑧ 総便益額	:	2,172,117 千円
⑨ 総費用総便益比 = ⑧ ÷ ③	=	10.14 ≥ 1.00
⑩ 総所得償還率 = ④ ÷ ⑥	=	- ≤ 0.2
⑪ 増加所得償還率 = ④' ÷ ⑦	=	- ≤ 0.4

第12章 関連する事業

該当なし

第13章 現況・計画平面図

1. 位置図
2. 計画一般図

令和7年度 新規採択希望

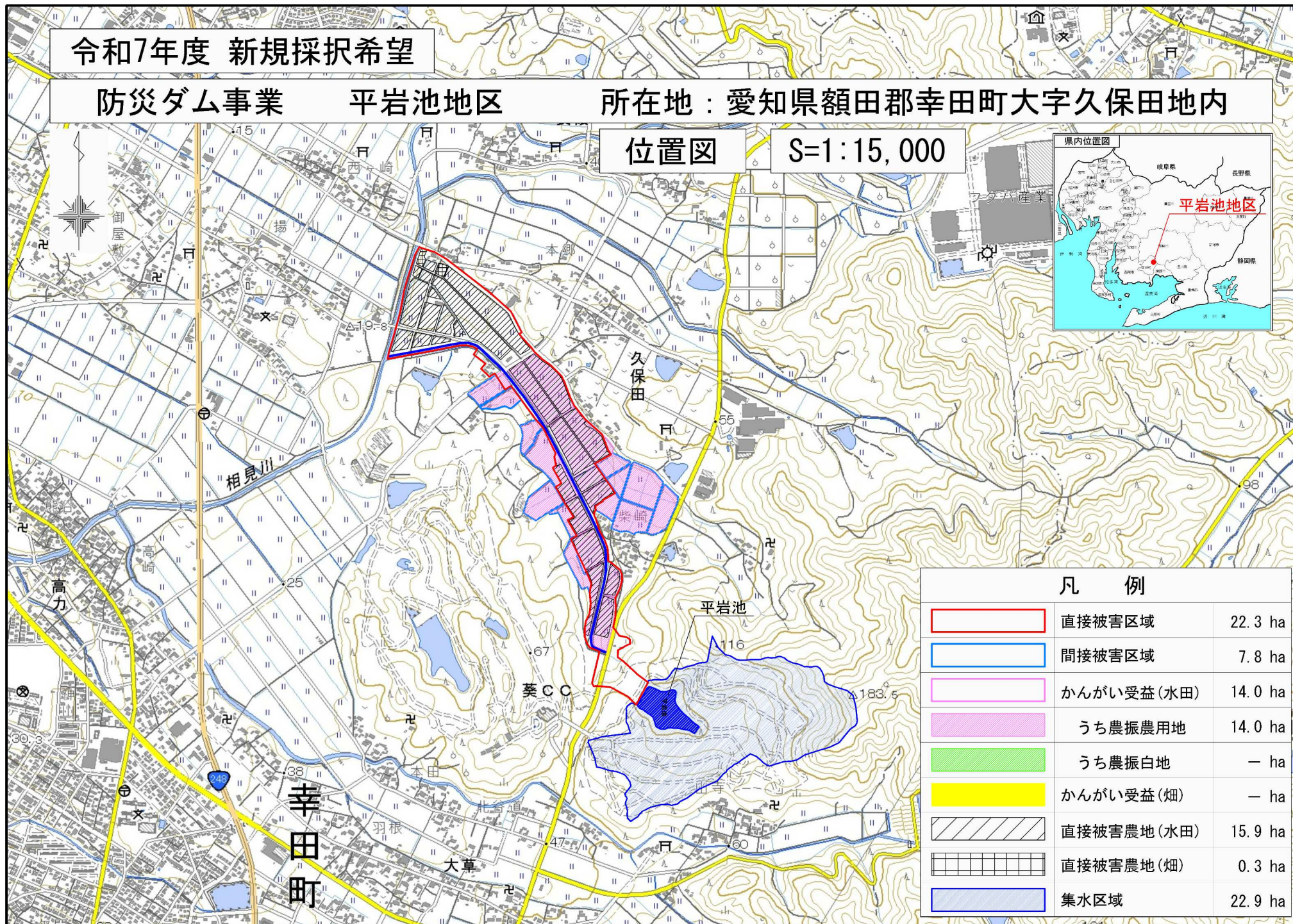
防災ダム事業

平岩池地区

所在地：愛知県額田郡幸田町大字久保田地内

位置図

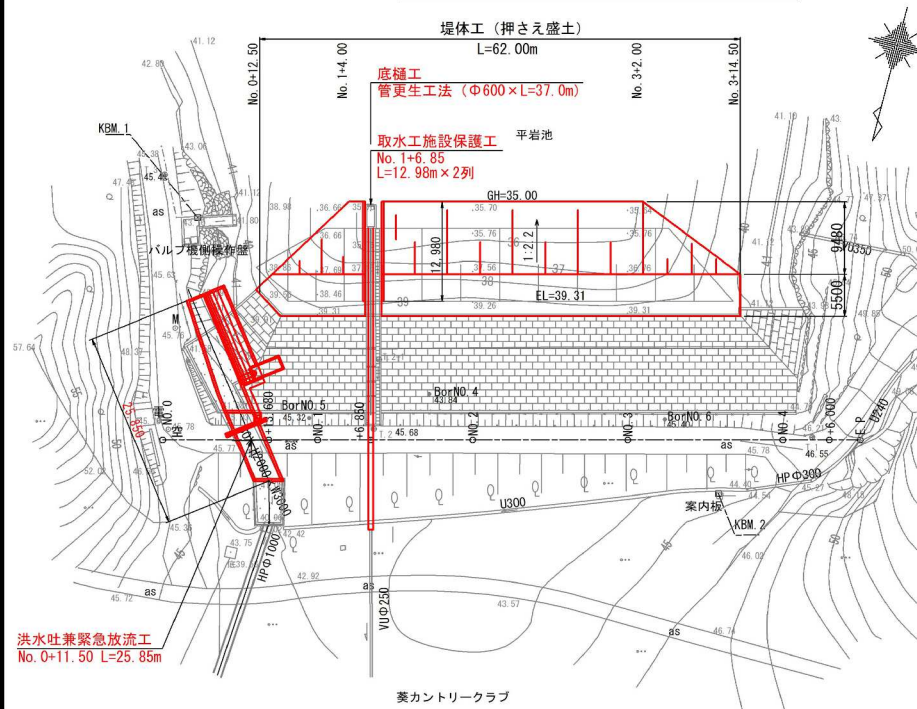
S=1:15,000



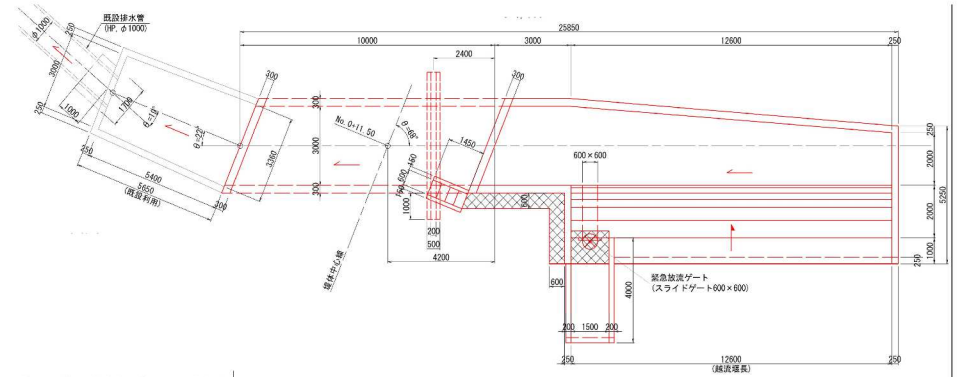
凡 例		
	直接被害区域	22.3 ha
	間接被害区域	7.8 ha
	かんがい受益(水田)	14.0 ha
	うち農振農用地	14.0 ha
	うち農振白地	— ha
	かんがい受益(畑)	— ha
	直接被害農地(水田)	15.9 ha
	直接被害農地(畑)	0.3 ha
	集水区域	22.9 ha

防災ダム事業 平岩池地区 計画一般図 (1/2)

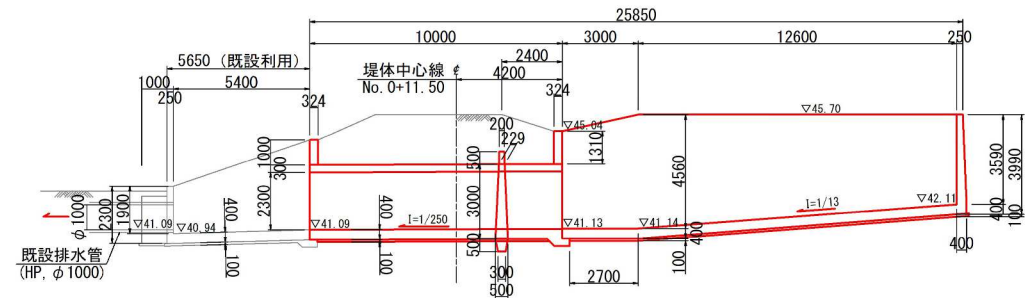
計画平面図 S=1:1000



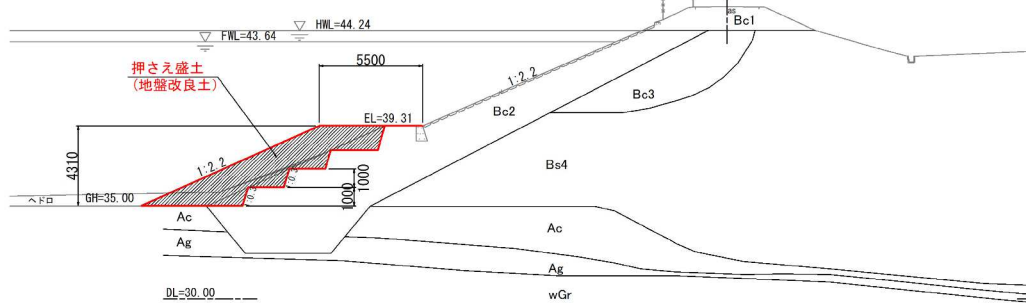
洪水吐兼緊急放流工平面図 S1:300



洪水吐兼緊急放流工縦断面図 S=1:300



堤体工標準断面図 S=1:400



緊急放流工縦断面図 S=1:200

